

HIBAKUSHA NEWS

ヒバクシャ国際署名 会報誌 vol.1 & 2

連絡会参加団体の取り組み

全日本民医連

*全日本民医連事務局で、1月6日にお茶の水駅頭で宣伝・署名行動を実施。*神奈川の戸塚診療所では、ヒバクシャ国際署名推進委員会を設置。被爆者健診にあわせて署名活動を実施。*岡山の薬局法人では組合員さん700人に返信用封筒をつけて署名を郵送し、取り組みを依頼。*愛媛では6・9行動で原爆パネルを街頭にだして、署名宣伝行動。*長崎では10月から第一日曜日に平和公園で署名行動

原水禁

2016年8月原水禁世界大会で、全参加者に配布。

ピースボート

2016年8月～11月の第92回ピースボート地球一周の船旅において、乗船した被爆者の方々と一緒に国際署名を集める。世界の多くの都市や船内で、計約500筆を集めた。

地婦連

全地婦連加盟48団体で2017年2月末日回収締め切りで署名活動に取り組み中、各団体での取り組み方法についてはそれぞれに任せることとしている。



ヒバクシャ国際署名の一年

2016年4月からスタートした「ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名」（以下、ヒバクシャ国際署名）。昨年分は9月末に集計し、署名総数は56万4240筆に上りました。集められた署名は代表して、日本被団協藤森俊希事務局次長が渡米し、国連第一委員会議長に提出致しました。

昨年末、国連で「核兵器禁止条約制定へ向けた交渉会議」開催の是非を問う決議が採択されました。交渉会議は3月と6月に2回に分けて開催されます。

日本は唯一の被爆国でありながらもこの決議に反対を投じました。これを受けて、ヒバクシャ国際署名と日本被団協が共催の形で集会を開催。「ヒバクシャは核兵器禁止条約を求めている」ことをアピールしました。当日は広島・長崎から多くの被爆者もこの日のために上京しました。また、公明党、民進党、共産党、社民党から議員も参加しました。会場は立ち見も入らないほどの満員で、今回の日本政府の対応に対する関心の高さを感じました。

HIBAKUSHA NEWS スタート

今年はいよいよ核兵器禁止条約交渉会議が開催されます。また、5月にはジュネーブでNPT再検討会議準備委員会も開催されるため、今年は2020年へ向けた一つの大きな山場を迎えることになりそうです。

新日本婦人の会

個人からの賛同*関千恵子*宮崎玲子
*渡辺一枝【作家】*山本千恵*松井朝子【パントマイム】**署名が届いた団体***WILPF*日本汎太平洋東南アジア婦人協会

(活動報告)

*「ヒバクシャ署名カフェ」が取り組まれている。若い世代のカフェでも位置づけられ、被爆者の会員の話を聞きとりしてまとめたりもしている。*2017年、新春6・9行動、成人式ヒバクシャ・憲法署名行動が各地で取り組まれた。共同をひろげ、シール投票で、チラシつきティッシュの配布、プラカードかかげてなど多彩な工夫も行われた。【東京・多摩支部】1月9日、今回初めて多摩センター駅で多摩市被爆者団体(やまばと会)、原水爆禁止国民会議多摩支部、原水爆禁止多摩協議会の3団体共同で署名行動に取り組んだ。【鳥取・境港支部】観光客でにぎわう水木しげる記念館前で9日行動を行った。【山梨・北杜支部】新しい女性市長と市議会議長、市役所職員など258人の署名が届けられた。【群馬】8人で約1時間行動して署名140人分集まった。伊勢崎支部は13人で行動。若者が「これは俺の問題だから」とすすんで署名し、近くにいた友人にも署名を呼びかけた。【北海道】ボールペンもインクが出なくなるような寒い日だったが、ヒバクシャ署名と新しい憲法署名に「大事な署名ですね」と署名する男性や若者。「寒い中、大変だね。頑張って」と激励された。【愛知】岡崎支部では、着ぐるみを着て、とり年にちなんだ帽子をかぶり、手づくりポスターを掲げてアピールが行われた。【大阪】49支部59ヵ所290班で成人式行動を行う。各地で成人式行動がとりくまれ、若い世代も参加した。

ヒバクシャ国際署名も始まりから約1年が経過し、連絡会参加団体、地域連絡会も現在36団体に増えました。取り組みに差はあるものの、この1年間を通じて、各団体独自に街頭署名活動や集会を行っています。しかしながら、自分たち以外の団体がどのような活動を行ってきたのか、また今後どのような取り組みを行うのかについて団体間の情報共有は行われてきませんでした。

この署名活動は、従来の枠組みを超えたイデオロギーや宗教、国家の枠を超えた横のつながりを持ち、それは強いメッセージ性を持っています。今後、多様な団体とのつながりを強くしながら署名をより多くの人に届けられるようにするためにも、情報共有は必要不可欠です。そこでこの度、各団体から2週間おきに報告書を提出していただき、その情報をもとにして「HIBAKUSHA NEWS」を刊行することにしました。今後は隔週を目標にこの会報をお届けしたいと思います。各団体から届いた連絡をそのまま引用している箇所も多いため、文体にバラつきがありますがその点はご了承ください。

全国各地で地域連絡会が発足しています

国際署名を通した、新しい横のつながりは地方でも生まれています。事務局が把握している地域連絡会を紹介します。*順不同

岩手県

(所属団体)

1 岩手県生活と健康を守る会、2 盛岡合唱団、3 岩手県消費者団体連絡協議会、4 岩手県私学教職員組合連合会、5 岩手憲法会議、6 日本民主青年同盟岩手県委員会、7 日本国民救援会岩手県本部、8 岩手県老人クラブ連合会、9 新日本婦人の会岩手県本部、10 岩手県商工団体連合会、11 岩手県医療局労働組合、12 岩手県反核医師歯科医師の会、13 年金者組合岩手県本部、14 全日本年金者組合二戸支部、15 日本中国友好協会岩手県連合会、16 平和・民主・革新の日本をめざす岩手の会、17 岩手民医連、18 日本科学者会議岩手支部、19 宗教者フォーラム、20 盛岡医療生活協同組合、21 いわて生協労働組合、22 岩手県生活協同組合連合会、23 原水爆禁止二戸協議会、24 原水爆禁止一関協議会、25 原水爆禁止気仙地区、26 原水爆禁止水沢地区、27 原水爆禁止久慈地区、28 原水爆禁止花巻地区、29 原水爆禁止北上和賀地区、30 いわて労連、31 盛岡地域労働組合連合会、32 全司法労組岩手支部、33 岩手医科大学教職員組合、34 盛岡医療生活協同組合労働組合、35 岩手県農業協同組合労働組合、36 キリスト者九条の会、37 気仙地域労働組合連合会、38 岩手県小中教職員連絡会、39 農民運動岩手県連合会、40 岩手県医療労働組合連合会、41 胆江地区労働組合連合会、42 岩手自治労連、43 盛岡市職員労働組合、44 奥州市職員労働組合、45 いわて生活協同組合、46 久慈民主商工会、47 奥州市医療局職員労働組合、48 岩手県平和委員会、49 原水爆禁止岩手県協議会、

日本生協連

1. 生協全体として、下記の目標を設けた。①生協全体での署名の集約目標として、100万筆を目指します。期間全体を通した目標は100万筆とします。重点取り組み期間を2016年末～2018年度前半とします。②地域での取り組みを広げるため、地域連絡会に積極的に参加します。**2. 全国の生協へ下記の内容で呼びかけをはじめた。**①被爆者が訴える「核兵器廃絶」にこたえて、署名活動に取り組みましょう。②各地域ごとに組織される連絡会等へ積極的に参画していきましょう。③「ヒバクシャ国際署名」の活動取り組み強化に向けて、関係する個人・団体へ活動を広げましょう。④被爆体験の継承、核兵器を巡る情勢を知るなどの学習活動を署名活動と一緒に進めていきましょう。

日本平和委員会

日本平和委員会の機関紙「平和新聞」にて、節々でこの署名運動の意義や取り組み状況を特集的に報道し、促進を図っている。*1月21, 22日に日本平和委員会の常任理事会を開き、3・1ビキニ集会、3月の国連会議、6月-7月の国連会議を節目に、署名を推進しよう（一会員5筆以上を目標に）と方針案を確認した。

ANT-Hiroshima

（活動内容）*来所者へ説明や協力依頼を行う*講演やイベントに参加時に呼びかける*公式Facebookなどでの紹介と拡散*美容院等の協力を快諾して下さった店舗などで署名を集めてもらう*スタッフメールの署名部分に、署名サイトのURLを貼り付けている。

50岩手県原爆被害者団体協議会、51北上民主商工会、52両磐地方労働組合連合会

（活動報告）

「核兵器廃絶国際デー」の9月26日、岩手県被団協と岩手県原水協は盛岡市で、横断幕と原爆写真パネルを掲げ、チランを配りながら、「ヒバクシャ国際署名」共同行動を行いました。

長野県

（所属団体）

長野県生活協同組合連合会、長野県教職員組合、原水爆禁止長野県協議会、原水爆禁止長野県協議会、長野県原爆被害者団体協議会

（イベント予定）

ヒバクシャ国際署名長野県推進連絡会（仮称）設立総会【日時】3月16日 13時30分より16時【場所】長野市生涯学習センター（トイゴ）3F第1、第2学習室【内容】(予定)1学習会2長野県原爆被害者の会からの呼びかけ3過報告4会の名称・要領の確認5世話人の選出6今後の予定

（活動報告）

1月26日(木)県庁で記者会見。県内77首長の賛同署名を含め、3月に県連絡会を結成することなど発表した。

神奈川県

（所属団体）

神奈川県ヒバクシャ国際署名生協推進委員会

1 神奈川高齢者生協 2 ユーコープ 3 パルシステム神奈川ゆめコープ 4 生活クラブ生協 5 福祉クラブ生協 6 富士フィルム生協 7 医療生協 かながわ 8 神奈川みなみ医療生協 9 神奈川北央医療生協 10 川崎医療生協 11 横浜国立大学生協 12 日本労働者協同組合センター事業団神奈川事業本部 13 神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会 14 やまゆり生協 15 神奈川県原爆被災者の会 16 神奈川県生協連 17 ヒバクシャ国際署名生協推進委員会

（活動報告）

神奈川の生協連と被爆者が手を携えて取り組むヒバクシャ国際署名のキックオフ集会在、9月23日、神奈川県トラック総合会館で開催されました。県内の被爆者26人と生協関係者99人の参加。元外務省官僚で、現広島平和文化センター理事長・平和首長会議事務総長の小溝泰義さんが「核兵器廃絶に向けた私たちの役割～核のない世界の実現に市民も主役です」と題し基調講演を行いました。

千葉県

（現在の状況・所属団体）

賛同し参加した団体

1 新日本婦人の会千葉県本部 2 千葉県生活協同組合連合会 3 コープみらい地域クラブ生協ピースの会 4 千葉県民主医療機関連合会 5 社会福祉法人千葉勤労者福祉会 6 千葉保健共同企画ふれあい薬局 7 千葉保健共同企画すこやか薬局 8 原水爆禁止千葉県協議会 9 千葉県平和委員会 10 千葉県原爆被爆者友愛会 11 千葉県流山市被爆者の会

安保体制打破新劇人会議

(活動報告) 青年劇場公演、堀田清美作「島」公演会場(12月17、18日 紀伊國屋サザンシアター)にて署名コーナーを作ってお客様に訴えた。芝居は被団協の坪井直さんをモデルにした作品。コーナー横に立って呼びかけをしたところ、3ステージで88の方が署名してくれた。(イベント予定) 2月26日(日)14時から、民族歌舞団荒馬座の稽古場を借りて新劇人会議の大会を行う。その際、被団協の藤森俊希さんを招き、国連の状況、ヒバクシャ国際署名の意義などについて学習会を行う。新劇人会議外の方も参加できる。*3月10日(金)17時、新宿駅周辺で署名行動を行う予定。

全労連

6月に署名用紙10万枚を配布。今後、推進連絡会デザインの横断幕の作成や追加で署名の増刷などを検討。【加盟組織より】自治労連：組合員一人5筆を目標に取り組みを進めている。全労連作成の署名用紙とは別に独自に署名を増刷し取り組みを進める。*JMITU：4月～5月に一気に進めていく。キックオフ集会や各支部で学習会を呼びかけていきたい。*生協労連：6万5千筆を目標に労使共同の取り組みを重視。学習会などを計画中。*全教：署名は5万枚を配布、現在1.2万筆を集約。9月末までに10万筆を目標に取り組みを進める。

ピースデポ

隔週で発行しているモニターにて署名の呼びかけを行う。*ホームページにヒバクシャ国際署名へのリンクを掲載。

1 2 千葉県千葉市被爆者の会 署名、募金に取り組む団体 1 千葉土建一般労働組合 2 京成電鉄労働組合 3 京成バス労働組合 4 千葉県宗教者平和協議会 5 千葉県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会 賛同参加団体 1 2 団体(推進連絡会に入れないが署名、募金は取り組む 4 団体)

長崎県

(所属団体)

「『ヒバクシャ国際署名』をすすめる長崎県民の会」事務局団体

1 核兵器廃絶地球市民集会長崎実行委員会 2 長崎県生活協同組合連合会 3 原水爆禁止長崎県民会議 4 原水爆禁止長崎県協議会 5 (一財)長崎原爆被災者協議会 「県民の会」共同代表 1 谷口稜暉 2 朝長万左男 事務局長 柿田富美枝 「賛同団体」 1 核兵器廃絶地球市民集会長崎実行委員会 2 (公財)平和推進協会 3 長崎県生活協同組合連合会 4 原水爆禁止長崎県民会議 5 原水爆禁止長崎県協議会 6 (一財)長崎原爆被災者協議会 7 ノーモアヒバクシャ訴訟弁護団 8 長崎の証言の会 9 福祉生協いきいきコープ 10 うたごえ協議会 11 生活協同組合ララコープ 12 長崎県被爆者手帳友の会 13 長崎県被爆者手帳友愛会 14 長崎原爆遺族会 15 長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会

(活動報告)

「『ヒバクシャ国際署名』をすすめる長崎県民の会」発足の会が9月26日長崎被災協講堂で約100人が参加して開催された。賛同人(団体)を幅広く募る、被爆の実相の普及、学習会開催などを提案、確認しました。谷口共同代表は「国際署名はなにがなんでもやり遂げなければいけない、生きているうちに地球から核兵器のなくなるさざしをつくるよう頑張りたい」とのべました。*(写真)田上市長も街頭署名活動に参加されました。(2016年2月26日)



原水爆禁止日本協議会

2017年 核兵器禁止条約実現の歴史的チャンス、元旦・新年から全国で行動。新年の取り組みに関しては原水協HP「原水協通信On The Web」を参照

<http://www.antiatom.org/Gpress/?p=14181>



***全国の6・9行動でヒバクシャ国際署名が行われた**

【兵庫】今春に国連が開催する核兵器禁止条約の交渉会議を成功させるため「ヒバクシャ国際署名」への協力を訴え【岡山】新春の6・9行動 被爆2・3世の会と共同で

【静岡】核兵器廃絶 参拝者に訴え静岡市原水協【長崎】平和公園で今年初めての「ヒバクシャ国際署名」行動 「迷いなく核兵器廃絶だと思います」と駆け寄り署名【青森】「ヒバクシャ国際署名」行動各地で開始 成人式の日にも宣伝

【岡山】新春の6・9行動 被爆2・3世の会と共同で【神奈川】核兵器禁止条約へ ダッシュ！！「ヒバクシャ国際署名」を大きく広げよう【北海道】新春6・9行動が札幌の表玄関JR札幌駅の南口と北口をジャック

詳細は原水協通信より

<http://www.antiatom.org/Gpress/>

青森県

(活動報告)

「ヒバクシャ国際署名」をすすめる青森県連絡会が11月12日、設立されました。青森県被団協が呼びかけて、原水禁、原水協、生協連の皆さんと進め方を協議、当日までに18団体・2個人が連絡会に加入しました。設立会は27団体33人の参加で盛会となり、NHKニュースで報道されました。青森県での目標は4年間で20万筆とし、3か月毎に集約すること、事務局を青森県生協連に置くこと、年会費などを確認しました。

香川県

(活動報告)

香川県原爆被害者の会は12月28日に県知事を含め全自治体首長から署名の賛同を得ました。高松市内では老人クラブや連合自治会など様々な団体にも申し入れをし、18団体が賛同。「あなたたちとは立場は違っても平和を願う心はひとつ」とのメッセージもいただいています。

紙面の関係上、今回紹介できない団体も多くありました。次号でも引き続き全国の地域連絡会について紹介してまいります。

世界に広がる署名活動

ベトナム

8月4日、原水爆禁止世界大会-広島の開会総会で、ベトナム平和委員会のグイ・リエン・フォン事務局長が、同国で集めた8万の署名の一部を持参し、日本被団協の岩佐幹三代表委員と、広島の被爆者7団体を代表して出席した佐久間邦彦さんに手渡しました。フォン事務局長は、ベトナムで数百万を目標に署名を集めると述べ、国際署名の取り組みに大きな勇気と希望を与えました。(日本被団協より)

ドイツ、イギリス

3年ごとに開かれる国際平和ビューロー（IPB）総会に合わせて、80カ国千人余りの代表が参加して、軍事費削減、平和、核兵器廃絶など多面的な問題を議論する世界会議が、2016年9月29日から10月3日まで、ドイツの首都ベルリンの工科大学で開かれました。

この会議の分科会の一つである「核兵器のない世界の創造」をテーマとする分科会にIPB会員である日本被団協の田中熙巳事務局長が日本原水協代表らとともに参加し、被爆証言とともに非人道的な核兵器の廃絶を急がなければならないとしてヒバクシャが呼びかける国際署名の重要性を訴えました。会議は被爆者の証言の重要性、市民社会の運動と役割を確認しました。パグウォッシュ会議会長のジャヤンタ・ダナパラ氏や国際反核法律家協会共同議長のピー

国際署名にご支援を！

ヒバクシャ国際署名は賛同団体の賛同金と、団体・個人のカンパで活動しています。現在、活動資金が不足しており、このままだと4月の段階で活動資金が無くなってしまふような状況にあります。

ホームページの作成、管理。署名用紙やパンフレットの作成、印刷、署名の保管。各団体との連絡、交通費、被爆者の国連派遣費等々これから活動を継続していくためにも資金が必要です。みなさまでヒバクシャ国際署名を支えてください。よろしくお願いいたします。

【郵便局からの場合】

口座番号

00160-3-362855

口座名称

ヒバクシャ国際署名連絡会

【銀行からの場合】

店名 019

預金種目 当座

口座番号

0362855

口座名称

ヒバクシャ国際署名連絡会

「HIBAKUSHA NEWSヒバクシャ国際署名会報誌vol.1 & 2」発行：ヒバクシャ国際署名事務局 問い合わせ：電話080-5273-3584（担当：林田）メール info@hibakusha-appeal.net



タ・ワイス氏などが快く署名し励ましてくれました。

大会参加後、イギリスのブラッドフォードを訪問し、ブラッドフォード大学や平和博物館を訪れ、米軍基地前での抗議行動などに参加しました。ブラッドフォード大の社会科学部にある平和学研究科の科長や教授と、核抑止政策や核兵器廃絶に関する意見を交換。科長はヒバクシャ国際署名に賛同し、インターネットに公開されたら学生にアクセスと署名を呼びかけると応えました。研究者や学生との意見交換会には市長も参加し自治体あげての平和教育にかける熱い思いを知ることができました。（日本被団協より）

メッセージ

森中照子さん（カリフォルニア州カルバー市）からのお手紙（抜粋）です。

私は北米原爆被害者の会で会計並びに事務のお手伝いをしております。広島原爆で最愛の姉を二人亡くしましたし、私自身も入市被爆者で、核兵器廃絶はずっと心から求めています。5月27日、オバマ大統領が広島で慰霊塔に花輪を供花されるのをテレビ放送で見て、私は亡くなった姉たちに問いかけて、「これで原爆を落としたアメリカを許してあげられる？」...姉二人とも、アメリカ生まれの日系二世です。広島では、戦争が終わったらアメリカに帰ると、いつも言っておりました。オバマ大統領が、大統領の任務が終わってもずっと核兵器廃絶に協力されるのであれば、被爆者も一緒になって悪魔の兵器をこの世から除かねばなりません。それでないと、何のためのノーベル平和賞ですか？ もう一日の猶予はありません。会員みなさんに、署名して返送してもらうよう手紙をつけ、署名用紙を75通出しました。お一人で70人の署名を送ってくださった人もあり、半数の人から署名が返ってきて、350人以上の署名が集まりました。一人ひとりの核廃絶への気持ちの集まりです。どうか、私たちの気持ちを国連に持って行ってください。心から応援しております。（*写真は森中さんが集めた署名）



最後に

「HIBAKUSHA NEWSヒバクシャ国際署名会報誌」今後も隔週発行してまいります。今回はこのような形での発行になりましたが、試行錯誤を重ねていきたいと思っております。次号は、地域連絡会の紹介の続き、連絡会参加団体について紹介したいと考えています。発行は2月13日予定です。